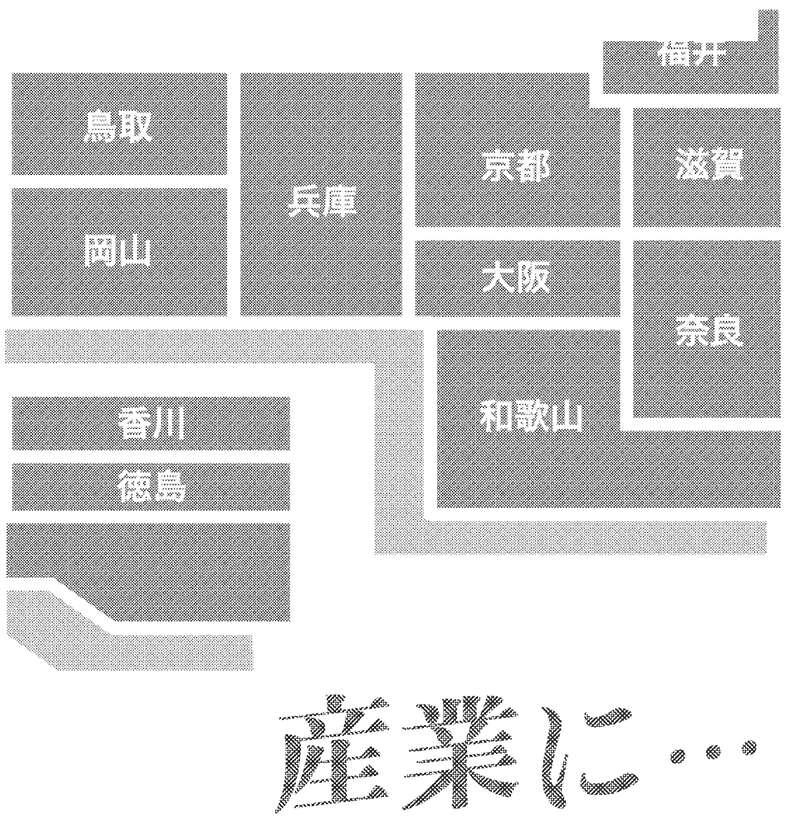
西日本



産業に…

沿線府県 知事からのメッセージ

大阪府知事　橋下 徹 氏

急成長するアジア諸国との競争の中で、関西・西日本が持続的に成長していくためには、地域の強みに磨きをかけ、広域的に連携し、地域のシナジー効果を発揮していくことが必要です。

関西では今、全国初の府県による広域連合の取り組みを始めたところであり、産業や観光、医療など、関西が一つにまとまり、今後の成長に向けたシナリオづくりを進めています。九州においても広域連携の機運が大変高まっているところであり、こうした西日本の2大経済圏の連携を進めていくことが重要と考えております。

九州新幹線の全線開通は、関西と九州が高速鉄道で結ばれることでヒト・モノ・カネの交流の一層の進展が図られ、西日本全体がアジアと伍（ご）して競争する一大経済圏として大きく成長していく契機となるものと大変期待しております。

西日本成長の契機に

大阪・関西には、世界的に今後大きな成長が期待されるリチウムイオン電池などの環境・新エネルギー関連や、医薬品や医療機器などのバイオ関連の企業・研究機関の集積が進んでいます。こうした集積を生かしながら、大阪・関西をわが国の成長エンジンとするべく、地域一体となって産業振興・経済活性化の取り組みに力を入れているところです。

3月24―26日には、「大阪新エネルギーフォーラム2011」を開催し、大阪・関西の取り組みを世界に紹介するとともに、内外の企業・研究者の交流を通じて、グローバルビジネスの活性化につなげていきたいと考えております。

皆さまも是非この機会に大阪・関西にお越しいただき、ビジネスをはじめ、地域間の交流を一層進めていただくことを期待しております。

兵庫県知事　井戸 敏三 氏

アジアなど新興国の台頭により国際競争が激化し、国内では大量生産、大量消費の経済活動の縮小が予測されています。世界と地域が直接つながる時代だけに、「世界の中の兵庫」を意識しながら、地域経済の持続的成長を図り、自立を目指していくことが必要です。

兵庫県は、世界レベルの科学技術基盤とモノづくりの強みを生かしながら、先端産業や健康、医療、環境・エネルギーなど成長分野の産業の育成に力を注いでいます。今年4月には、2012年度に供用予定の京速コンピューター「京」の利用施設として、高度計算科学研究支援センターを設置し、シミュレーション技術の産業界への普及を図ります。また、SPring-8や11年度中に供用されるX線自由電子レーザーの産業利用を支援し、ナノ分野などでの新産業、新技術の創出に取り組んでいます。

地域の枠超え連携を

国際競争力の強化には、府県の枠組みを超えた連携も欠かせません。このため、昨年12月に発足した関西広域連合では、産業クラスター間の連携、研究施設の相互利用、合同プロモーション・ビジネスマッチングの実施などにより、関西経済全体の活性化を目指します。観光分野についても、鳥取・京都との共同による山陰海岸ジオパークの魅力発信など、すでに近隣府県との連携に取り組んでいますが、関西広域連合でも広域観光ルートを設定するなど一層連携を深め世界にアピールしていきます。

厳しい今こそ、地域の資源と力を結集するとき。「自立と連携」を基本姿勢に、世界とつながる新時代の経済社会をつくっていきます。

岡山県知事　石井 正弘 氏

岡山県の産業構造は製造業の割合が高く、製造品出荷額などは年間8兆円規模に上り、全国でも上位にランクされるなど「ものづくり産業」が特徴です。

特に本県経済をけん引している水島地区は、石油、化学、鉄鋼、輸送機械など幅広い分野において高度な技術力を有する大企業が集積し、わが国有数の工業地帯となっています。

また、県内には全国的に有名な地場産業として学生服、ジーンズ、ワーキングウエアなどの繊維産業や耐火物産業、機械金属関連などがあり、独自の製品、技術を持つ企業が数多く存在しています。

加えて、超精密生産技術、バイオ、医療・福祉・健康、環境の4分野を「ものづくり重点4分野」とし、産学官連携による新製品や新技術の開発が進むなど、充実した産業支援体制の下、新たな産業が育ちつつあります。

観光・交流拠点 狙う

現在、本県では、近隣府県と連携し、日本を代表する一級の観光資源である瀬戸内海を核に、観光地やグルメなどを組み合わせた広域観光ルートを国内外の旅行会社に提案するなど、旅行商品造成の働きかけを行い、効果的な観光客の誘致を図っています。

今後は、充実した交通基盤や産業集積など本県の持つ優位性や先進性を生かして、環境・新エネルギーや医療・健康、情報通信など成長が期待される分野や観光振興で西日本各地との連携を進め、西日本はもとより、アジアや世界と結びつきを強め、力強いモノづくり産業の育成や集積を図るとともに、国内外からの集客力を高め、「地域発」でつくる「観光・交流拠点おかやま」の実現を目指してまいります。

広島県知事　湯崎 英彦 氏

広島県の産業は、製造業と卸売り・小売業のウエートが高い。中でも製造業は、鉄鋼業や化学工業などの基礎素材型産業、輸送機械や一般機械などの加工組み立て型産業、食料品などの生活関連型産業といった多種多様な業種が存在します。バランスの取れた重層的な産業構造が形成され、競争力のあるモノづくり産業が集積しています。

これ以外にも本県には、二つの世界文化遺産や多くの島が美しい景観を織りなす瀬戸内海など世界に誇れる「力と宝」が存在します。その財産を最大限活用して底力を発揮することで、新しい活力を生み出す可能性を持っています。

これから、圏域ブロック全体の発展も視野に、近隣県などと連携して、新たな時代を切り開く広島県づくりに取り組むため、昨年策定した新たな総合計画である「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、「人づくり」「新たな経済成長」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」の四つの分野ごとにさまざまな挑戦を行います。

広域圏で発展目指す

特に「新たな経済成長」については、世界トップレベルの技術の集積を生かしつつ、新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる「イノベーション立県」を目指して、企業の付加価値・競争力の徹底強化に取り組みます。また、アジアをはじめ海外成長市場の活力を取り込む戦略を推進します。さらに、「瀬戸内海ブランド」など世界に誇れる観光地を目指した国内外からの観光客の増加や、イノベーションの源泉となる経営能力や高度な技術を備えた多彩な産業人材の育成・集積に取り組んでいきます。

山口県知事　二井 関成 氏

九州新幹線全線開通おめでとうございます。開通により山口県と鹿児島県が約2時間で結ばれるなど、アクセス面における利便性が飛躍的に高まることから、観光交流拡大や企業間の経済交流の活発化を通じて地域の活性化につながるものと大いに期待しております。

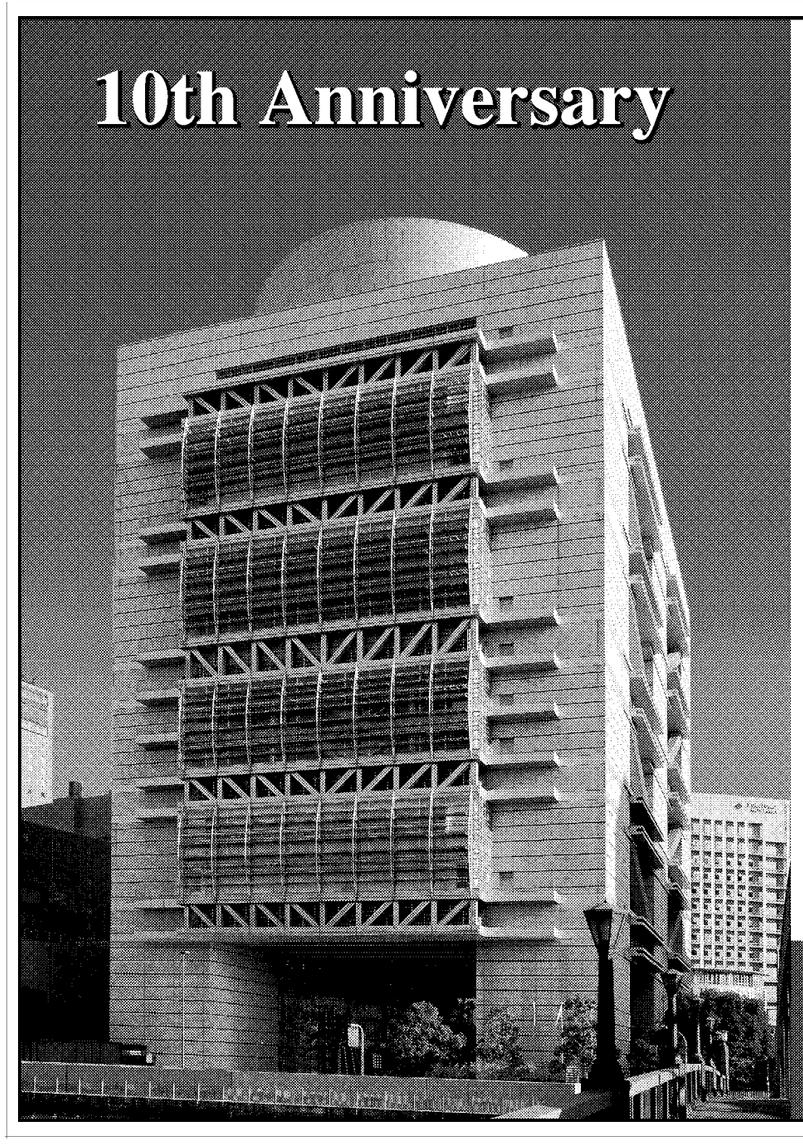
特に九州とは、近代化産業遺産の世界遺産登録に向けて共同で取り組んでおり、今後はこうした広域的な取り組みを強化し、交流人口の拡大に努めていきたいと考えています。

山口県では、今年から来年にかけて全県統一の「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」を展開することとしており、九州新幹線を利用して多くの皆さまに本県を訪れていただきたいと考えています。

おいでませ！山口へ

今年7月から実施するプレキャンペーンでは、「明治維新」や「歴史の道『萩往還』」などの歴史ロマンあふれる周遊プランをはじめ、緑豊かな田園を駆け抜けるSL「やまぐち」号、山陰海岸を巡る「みすゞ潮彩」などの懐かしい列車の旅など、山口県ならではの魅力満載のメニューを用意して皆さまのお越しをお待ちしています。また、10月には、国内最大の総合的なスポーツの祭典である「おいでませ！山口国体・山口大会」を県内全域で開催します。

三方が海に開け、瀬戸内海国立公園、秋吉台・秋芳洞や北長門海岸国定公園をはじめとする四季折々の豊かな自然。また、ふぐ、イカ、ハモなどの海の幸をはじめとする多彩な食や良質な温泉にも恵まれた当県。九州新幹線の開通により、ぐんと近くなった山口県へ、ぜひお越しください。

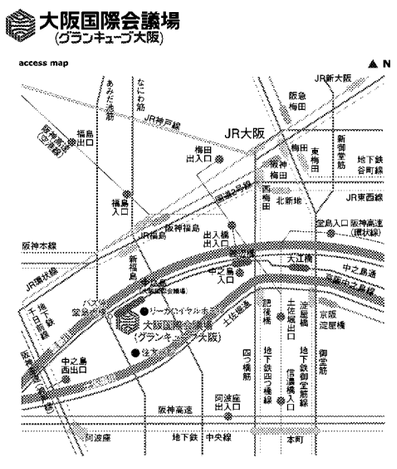


おかげさまで、10周年を迎えました

グランキューブ大阪
Osaka International Convention Center

～ 世界都市大阪のシンボルとなる総合交流施設 ～

■国際会議・式典・コンサートなど多彩な利用が可能な最大2,754人収用のメインホール
■世界のVIPを迎えるにふさわしい落ち着きと格式を備えた特別会議場
■展示会や会議、レセプションなど目的と規模に応じて分割利用もできる2,600m²のイベントホール
■目的や規模に応じて幅広く利用できる25の会議室
■同時通訳設備、最新の大型映像設備・音響・照明設備を装備



メインホール（エンドステージ型）

株式会社 大阪国際会議場
OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号
Tel.06(4803)5555(代表)　Fax.06(4803)5620
http://www.gco.co.jp